

こんな活動です

学区内の豊かな教育環境を活かした地域協働学習の実施～学校・家庭・地域で共に育て、共に育つ「共育（ともいく）」の推進～

東京都町田市

活動名

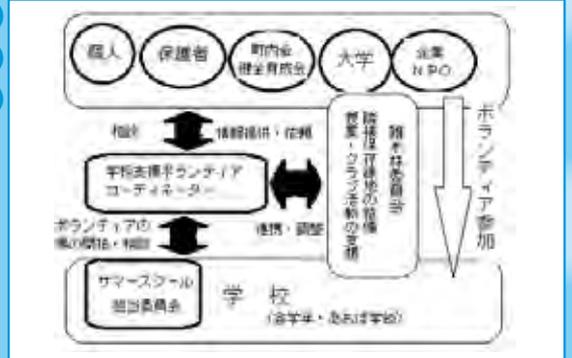
町田市立小山中央小学校学校支援活動

関係する学校名

小山中央小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 2人	ボランティア登録数 887人	学習支援 有	開始年度 22年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 有
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



活動の概要・経緯
 平成22年の開校とともに学校支援ボランティアコーディネーター（以下「VC」）が配置され、学校・VCの調整のもと学校支援活動の充実化を図ってきた。6年目の平成27年度には「学習支援活動」「環境整備」「登下校安全指導」「学校行事」などの分野で、保護者・地域等との連携・協働のもと、887名のボランティアの方が活躍し、保護者・地域・学校で共に育てる、共に育つ、「共育（ともいく）」をスローガンに、「地域と連携した学習」や、夏季休業中の「サマースクール」、雑木林（保存緑地）を活用した活動等を行ってきた。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

学区内の豊かな教育環境を活かし、以下のような活動を行っている。1年－七夕飾り、独楽まわし／2年－町探検、地域の畑で落花生栽培、昔遊び／3年－消防団の学習、酪農の学習、蚕育てと繭の糸取り／4年－組囃子連（伝承文化）、地域の畑で大豆の栽培、雑木林で椎茸の栽培／5年－バケツ稲の栽培、工場見学、キャリア教育／6年－茶道体験、味噌作り、邦楽体験、福祉体験／あおば学級－梅もぎ、夏季休業中に「サマースクール」を実施。多くの地域の方、保護者に講師を務めてもらっている。また、隣接した雑木林を保護者・地域・学校が協働で整備し、授業やクラブ活動等で活用している。

【実施に当たっての工夫】

年度初めに、VCの役割についてや、前年度の「地域支援による教育活動の記録」をもとに、各学年において地域の教育力がどのように活かされているか教師の共通理解を図る。その上で、教師の主体性を尊重した新年度の活動を調整していく。実施においては、打合せ・当日の内容・参加ボランティア数・気付き・教師の反省、感想等を「ボランティア活動記録」として整理し、継続した活動等の資料としている。講師には「写真ニュース」等を届けて感謝を伝え、良かった点・改善点などを伺っている。お世話になった方々をご紹介する「ボランティアNEWS」を発行、保護者配布と地域回覧をしてVCの活動の周知と学校支援に対する取り組みへの理解を図っている。

● 事業を実施しての効果・成果

教員からは「VCが関わることで、地域との連携による児童の体験的な学習がより充実し、学習内容への理解や新たな知識や発見を深めている」と評価されている。講師には、「楽しかった。子ども達から元氣もらえた。写真ニュースが楽しみ」等、新たな学びややりがいを感じながら活動され、新たな講師人材を紹介していただくなど、学校や児童に関心をもっていただいている。保護者からも、サマースクールや体験学習が充実している、家庭での会話が広がるなどの反響がある。「ボランティアNEWS」を通して活動に関わった方を知り、地域の方が「自分も活動してみたい」と話される声も聞こえてくるようになってきている。



「サマースクール」での「サッカー」・「親子でみそづくり」の様子
 ※写真ニュース



5年「バケツ稲の栽培」でのボランティア指導の様子